

## 2 目標達成計画

事業所名： ケアホーム まごのて

作成日： 令和1年9月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を掲げているが、理念について普段から話し合っていないため、理念に基づいた介護ができていない場合もある。また、大まかな理念の為、具体的に何を行っていかばよいか、個人レベルの考えで行っているため、バラツキがみられる。	「利用者の尊厳を守る」、「個人ケアの実施」、「季節に合わせた衣食住の提供」の理念を具体的に分かりやすい内容にし、ホーム全体で理念に取り組む。	理念の内容を少ないことでもよいので身近な事から出し合い、すぐに出来るものから月々の目標とし12ヶ月分を作り始める。理念の具体的な内容は職員に個々に決めさせる。毎日の申送りで確認し、紙に書き徹底する。	12 か月
2	36	利用者に対しての言葉使いなど、人権の尊厳の希薄さが見られる。また、尊厳とは何か漠然としか理解できていないように思われる。尊厳についてや接遇等の研修が行えていないこともある。今後研修の機会を設ける必要がある。	日常会話は人生の先輩であることを意識し、尊厳のある言葉を使用する。 トイレ誘導時等プライバシーを損ねないような言葉がけと周りに配慮し行う。	以前に接遇や権利擁護について受講した者を筆頭に、ホーム内で勉強会を開く。接遇や権利擁護の研修会に積極的に参加をさせ、内容を共有し実行していく。日々の言葉がけ等で特にスピーチロックに気をつける。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月